

『比較文学』の論文等の執筆要領

以下は日本語論文等（論文や書評、その他）を執筆する際の執筆要項になります。外国語で執筆する場合もこれにしたがって下さい。特に指示がない場合はここに定めるところに準ずるかたちで執筆をするようにして下さい。

☆表記全体について

- ・日本語による論文は原則的に日本語を用いて執筆下さい。外国語を用いる場合は半角引用符で囲って下さい。

例

この行でシェイクスピアは ‘thou’ ではなく ‘you’ を用いている。

- ・註や文献表における文献の表記についてはこの限りではありません。
- ・句読の記号については全角を用いて下さい。「。」「，」「？」「（）」「」」「『』」「&」「ー」「・」等。
- ・割合を示す際、図や表における場合を除いて「%」ではなく「パーセント」と表記して下さい。

☆名称の表記について

- ・外国語由来の名詞や固有名詞についても日本語に置き換えて示し、西洋人の名前は姓・ミドルネーム・名をつなぐ際に「・」を使用し、二重姓や二重名をつなぐ際には「||」を用いて下さい。アルファベットは全角を用います。

例

エリザベス・ギヤスケル

ジャン||ジャック・ルソー

W・B・イエイツ

- ・固有名や固有名詞に、生没年を併記する際には、日本語名のあとにかっこで示し、漢数字によって年代を示し（「年」を加えない）、範囲を示す際は「〜」を用いて下さい。

例

夏目漱石（一八六七〜一九一六）

エリザベス・ギヤスケル（一八一〇〜六五）

- ・固有名や固有名詞に、原語や生没年を併記する際には、日本語名のあとにかっこで示し、アラビア数字によって年代を示して下さい。原語と年代の間にはセミコロンを挿入して下さい。

例

エリザベス・ギヤスケル (Elizabeth Gaskell; 1810-65)
第一次世界大戦 (the World War I; 1914-18)

☆作品名について

・作品名を示す際、書籍、新聞、雑誌、映画作品等の作品名は、日本語名は二重かぎかっこ『』で示し、原題を示す際はそのあとにかっこ「()」を付して記して下さい。原題が欧文の場合はイタリック体にして表記して下さい。副題を付す場合は、日本語名はダッシュ「-」、英語名はコロン「:」でつないで下さい(副題の後にはダッシュをつけないで下さい)。

例

『オトラントの城ーゴシック物語』(The Castle of Otranto: A Gothic Story;
1859)

・作品名を示す際、詩、短篇小説作品、記事名、映像作品の一エピソードなど、作品の一部に掲載される作品名は、日本語では一重かぎかっこ「」で示し、原題を示す際はそのあとにかっこ「()」を付して記して下さい。原題が欧文の場合は引用符を付して記して下さい。

例

「シャロットの乙女」(The Lady of Shalott')

・その他、年代や原題の示し方は、上記「名称の表記について」に準じます。

例

『二都物語』(一八五九)
「赤毛同盟」(The Red-Headed League'; 1891)

☆数字について

・数字については地の文については原則漢数字として下さい。二桁以内の数字については一の位のゼロを「〇」で示し、十の位と一の位を繋ぐのに「十」を用いて下さい(数量を示す場合はこの限りではありません)。三桁以上の数字はゼロを「〇」で示し、位を示すための「〇」(ゼロ)や「万」、「千」、「百」、「十」を省き、西暦により年を記す場合以外については三桁ごとに位取りの「,」を入れて下さい。

例

三〇人

一九一二年
十五歳
二十九歳
七十二パーセント
三、三四五円

・西暦・和暦を併用する場合は、西暦の後にカッコ「()」を付して記して下さい。

例

一九八八(昭和六十三)年
二〇〇五(平成十七)年十一月二十二日

・世紀を記す際は、「〇」(ゼロ)や「一」を使わず「十」を用いて下さい。

例

十八世紀
二十世紀
二十一世紀

・数字や年代やページ数の範囲を示す際は、「〜」を用い、後置する数字については、前置する数字と共通している部分がある場合は、最後の二桁、四桁、ないし六桁(偶数桁)の共通していない部分のみ示す。

例

一〜五人
一八三七〜一九〇一年
一九一四〜一八年
八八〜九二頁
一六二〜七四頁
二、三九八〜二、四〇六頁

・部分的に横書きのアラビア数字を用いる箇所については数字の幅を示す際にハイフン「-」を用いる。

例

1837-1901
1914-18

☆註と文献の示し方

3 ・本文に書いた内容を根拠付ける際や特段の解説を付す際、他の資料から引用をした際

- ・に、註参照番号と註を付して下さい。註参照番号は語や句に付さず、文の末尾にのみ付して下さい。また、一箇所につける註参照番号は一つだけでその註の中に関連するすべての注釈文を含めるようにし、同一箇所に複数の註参照番号を付さないで下さい。
- ・註の形式は、脚註や傍註ではなく、尾註を用いて下さい。また、参考文献表を添付する場合も、文末に配置して下さい。
- ・次の二つの方式のいずれかを用いて文章中の註と尾註・参考文献表を関連づけて下さい。

【A方式】

- ・註を付す箇所に註参照番号をアラビア数字の連番で付し、論文の末尾に尾註を付しその中に文献と引用箇所を示します。

例:

【本文】

ところが、ジェイムズ・ボズウェルの説明するところでは、サミュエル・ジョンソンはキリスト教の教義に照らした上でも自殺者を擁護しているのである。⁽⁶⁾

【尾註】

(6) James Boswell, *The Life of Samuel Johnson*, Wordsworth Classics of World Literature (1791; Ware: Wordsworth Editions, 1999), pp. 868-69.

- ・初出でない文献については、姓とページ数のみ示し、論文内で同著者による複数の著作を扱っている場合のみ、著作名(略名可)を付して下さい。前註と並んでいても、「ibid」の記号をえません。

例: 【尾註】

(9) Boswell, p. 920.
(9) Boswell, *Life of Johnson*, p. 920.

- ・その他、根拠提示や解説のための註も含め、註の記載は文とし、句点「。」やピリオド「。」で終えて下さい。

【B方式】

- ・註は語に付さず、文の末尾にのみ付して下さい。

例:

【本文】

ところが、ジェイムズ・ボズウェルの説明するところでは、サミュエル・ジョンソンはキリスト教の教義に照らした上でも自殺者を擁護しているのである (Boswell, pp. 868-69)。

〔参考文献表〕

Boswell, James, *The Life of Samuel Johnson*, Wordsworth Classics of World Literature (1791; Ware: Wordsworth Editions, 1999)

- ・論文内で同著者による複数の著作を扱っている場合は、著作名(略名可)を付して下さい。

例:

〔本文〕

ところが、ジェイムズ・ボズウェルの説明するところでは、サミュエル・ジョンソンはキリスト教の教義に照らした上でも自殺者を擁護しているのである (Boswell, *Life of Johnson*, pp. 868-69)。

- ・本文が日本語の文章である場合も含め、出典が英語タイトルであれば英語で表記し、日本タイトルであれば日本語で表記し、かつこの内の記述を参考文献表に記載の著者名と一致させて下さい。
- ・参考文献表は「姓」「名」の順序にし、五十音およびアルファベット順に配列して下さい。
- ・参考文献表の各項目の末尾には句点「。」やピリオド「.」を付さないで下さい。

☆文献の示し方

- ・本文に書いた内容を根拠付ける際や特段の解説を付す際、他の資料から引用をした際に、註参照番号と註を付して下さい。註参照番号は語や句に付さず、文の末尾にのみ付して下さい。
- ・それぞれの文献は「著者(または編者)」、「著作タイトル」、「翻訳者・注釈者」、「掲載書籍または掲載雑誌名」、「巻数」、「編者」、「シリーズ名」、「総巻数」、「出版情報」、「掲載ページ数」の順で記載して下さい。
- ・著者が複数の場合、全角スラッシュ「/」で区切って下さい。
- ・単行本を示す場合、和文のタイトルは二重かぎカッコ『』でくくり、欧文タイトルはイタリック体で記述して下さい。単体で作品となっている絵画や映像作品もこれに準じます。
- ・単行本の一部の章や詩篇、短篇作品、新聞や雑誌の記事を示す場合、和文のタイトルは一重かぎカッコ「」でくくり、欧文タイトルは引用符(・)でくくって記述し

てください。連作となっている絵画や映像作品などの一部の作品を示す場合もこれに準じます。また雑誌のタイトルは冠詞を外して示して下さい。

- ・ 出版情報には初出年、出版都市名、出版社、出版年（年）を付して表示）を例の記載に従って示します。

例

夏目漱石、『文学評論』全二巻、岩波文庫（一九〇七年、東京、岩波書店、一九八五年）

James Boswell, *The Life of Samuel Johnson*, Wordsworth Classics of World Literature (1791; Ware: Wordsworth Editions, 1999)

ドニ・デイドロ、『運命論者ジャックとその主人』王子賢太／田口卓臣訳（東京、白水社、二〇〇六年）

E・M・フォースター、「ヘンリー・ソーントン」、小野寺健訳、『民主主義に万歳二唱』第二巻、「E・M・フォースター著作集」、全十二巻（東京、みすず書房、一九九四年）、一〇八頁

J. R. R. Tolkien, 'Guide to the Names in *The Lord of the Rings*', *A Tolkien Compass: Fascinating Studies and Interpretations of J. R. R. Tolkien's Most Popular Epic Fantasies*, ed. by Jared Lobdell (1975; La Salle: Open Court, 1980), pp. 153-201

小林秀雄、「飴」、『青銅時代』第一巻第七号（一九二四年九月）、五四～六二頁

Edmund Wilson, 'A Man of Unquestionable Genius', *Ariel*, 17 (1966-67), 31-36

池田弥三郎／松村清之、「対談」おそろしい旅館火事―水上温泉旅館火事―、『朝日新聞』一九六六年三月十二日、朝刊、十四頁

Leslie Stephen, 'Carlyle House', *Times*, 31 December 1984, p. 6

- ・上記、註における文献の示し方に準じて下さい。ただし、参考文献表においては、冒頭の著者名、編者名の最初の一人を欧文の場合も「姓」「名」の順に配置して下さい。
- ・また各項目をぶら下げインデントのレイアウトによって区別を明確にして下さい。

例

Boswell, James, *The Life of Samuel Johnson*, Wordsworth Classics of World Literature (1791; Ware: Wordsworth Editions, 1999)

Caruth, Cathy, and Jonathan Culler, 'Special Topic: Literary Criticism for the Twenty-First Century', *PMLA*, 125.4 (October 2010), 905-1152

二〇一七年十二月版